

事業報告

令和3年度 第1回「地域学校協働活動」関係者研修

日時：【県央地区】 令和3年6月22日（火） 13：30～15：40
【県南地区】 24日（木） 13：30～15：40
【県北地区】 29日（火） 13：30～15：40
場所：【県央地区】 大分県立図書館 視聴覚ホール
【県南地区】 佐伯東地区公民館 集会室
【県北地区】 真玉公民館 ホール
参加者：【県央地区】 33名 【県南地区】 18名 【県北地区】 26名 合計77名
形式：集合型研修

<研修趣旨>

コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動推進員、「協育」ネットワーク関係者等を対象に、行政説明や情報交流等をとおして活動の意義と連携の方策について学ぶ場とする。

<研修内容>

○行政説明：「地域学校協働活動の持続的発展に向けて」

説明者：大分県教育庁社会教育課 指導主事 栗本 寛 氏



地域学校協働活動の経緯等について、具体的な資料・データを提示して詳しく説明し、的確な現状分析及び課題把握を可能とする内容であった。同時に、今後の持続的発展の方向性を示唆しながら、事例発表の視点も明確にすることで、研修全体の目的達成へとつなげる構成となっていた。

○事例発表：「地域と学校がつながる体制づくり」～行政職員と推進員等の役割～

登壇者：【県央地区】 由布市教育委員会社会教育課副主幹	北崎 英梨 氏
湯布院公民館地域人材活用指導員	城内 三美 氏
湯布院中学校区地域学校協働活動推進員	木戸 栄子 氏
湯布院中学校区地域学校協働活動推進員	嘉手川 智美 氏

【県南地区】 佐伯市教育委員会社会教育課主任	後藤 奈保子 氏
蒲江校区地域学校協働活動推進員	木許 るみ子 氏

【県北地区】 中津市教育委員会社会教育課生涯学習推進室長	山本 健吾 氏
今津小中学校区「協育」コーディネーター	金丸 隆 氏

3地区とも、地域の実態に即した体制づくりと、特色に応じた魅力的な地域学校協働活動の取組が行われている自治体の事例発表であった。各市町村の参加者がそれぞれの実情や抱える課題等と照らし合わせながら、担う役割に応じて事業を展開する際に参考となる、具体的でわかりやすい内容であった。

【県央地区】



【県南地区】

佐伯市の地域学校協働活動の取り組み



佐伯市教育委員会 社会教育課 生涯学習推進係 後藤奈保子
地域学校協働活動推進員(蒲江校区コーディネーター) 木許るみ子

【県北地区】



<参加者感想>

- 発表地域はもちろん、情報交換で他の地域の取組も知ることができ、とても参考になった。
- コーディネーターの仕事の重要性や役割を再確認できた。
- 今回の研修でいかに公民館の存在が重要か再認識した。公民館には正規職員が配属されなくなるなど、難しい面もあるが参考にしたい。
- やはり学校、コーディネーター、関係者の意見交換・共通理解が必要。当事者意識が大切。
- 自分の自治体と体制や業務内容がまったく違って戸惑ったが、発表した自治体の活動を目指して、少しずつでも変わっていきたいと思った。
- CS、学校運営協議会という組織があることは知っているが、協議員の委員は学校管理職やPTA三役が主で、地域の人々や保護者はその存在も中身も何も知らないのが実情。会議がいつ行われ、何が話し合われ、どのような方向性を目指しているのか耳にしたことがない。他市は全く違う体制で横のつながりができていることに驚いた。
- まだ地域学校協働の内容がつかめていない。よくわからない部分が多い。
- 市町村によって雇用形態や財政状況が違うため、現実難しい面もある。
- 地元出身の管理職・教職員が少なくなっていることや、「働き方改革」などで職員への休日出勤などもお願いしにくい情勢の中で、学校側が地域にどれだけ積極的に関わられるのか。課題は多い。
- 講師（ゲストティーチャー）の高齢化。後任探しが難しい。持続的発展という面で心配。